

学生証番号

--	--	--	--	--	--	--	--

氏名

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

点数

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

以下 d は素因数分解に平方因子を含まない整数とする. 環 $\mathbb{Z}[\sqrt{d}]$ を

$$\mathbb{Z}[\sqrt{d}] = \{a + b\sqrt{d} \mid a, b \in \mathbb{Z}\}$$

と定義する. $\mathbb{Z}[\sqrt{d}]$ の元 $\alpha = a + b\sqrt{d}$ に対し, $\bar{\alpha} = a - b\sqrt{d}$ を α の**共役元**という. $\mathbb{Z}[\sqrt{d}]$ において α のノルム $N(\alpha)$ は,

$$N(\alpha) = \alpha\bar{\alpha} = a^2 - db^2$$

と定義される.

□ $\alpha, \beta \in \mathbb{Z}[\sqrt{d}]$ とする. 次を示せ.

(1) $N(\alpha\beta) = N(\alpha)N(\beta)$

(2) α が単元 $\iff N(\alpha) = \pm 1$

(3) $N(\alpha)$ が \mathbb{Z} の既約元ならば, α は $\mathbb{Z}[\sqrt{d}]$ の既約元である

[2] 環 $\mathbb{Z}[\sqrt{5}]$ において、次の元が既約元かどうか判定せよ.

- (1) 2 (2) $2 - \sqrt{5}$ (3) $4 + \sqrt{5}$

[3] 次の環 R において、指定された R の元 α が R の素元かどうか判定せよ.

- (1) $R = \mathbb{Z}, \alpha = 7$
(2) $R = \mathbb{Z}[i]$ (R はガウス整数環, $i = \sqrt{-1}$), $\alpha = 2$
(3) $R = \mathbb{Z}[\sqrt{-5}], \alpha = 3$
(4) $R = \mathbb{Z}[\sqrt{5}], \alpha = 2 - \sqrt{5}$